



CHIBA BANK 2009

ミニ・ディスクロージャー誌
平成22年3月期 営業の中間ご報告

1st 1st

お客さま第一主義+地域のトップバンク

設立	昭和18年3月
拠点	国内172店舗 (本支店151、特別出張所5、出張所14、仮想店舗2) 店舗外現金自動設備29,776か所 (うちコンビニATM「E-net」9,850か所、セブン銀行との提携による共同ATM13,063か所、ローソンとの提携によるATM6,602か所) 両替出張所3か所 海外：3店舗(ニューヨーク、香港、ロンドン) 1駐在員事務所(上海)
従業員数	4,296人
総資産	10兆2,533億円
預金	8兆6,435億円
貸出金	7兆1,522億円
資本金	1,450億円
発行済株式数	895,521千株
自己資本比率	単体12.02% 連結12.71%

※諸計数は原則として単位未満を切り捨てのうえ表示しています。

目次

中期経営計画	
「1st 1st」(ダブルファースト).....	2
頭取メッセージ	3
業績のご報告	5
資産健全化への対応と再生支援.....	7
トピックス.....	8
安心・安全にご利用いただくために.....	8
ちばぎんグループのCSR	9
財務諸表(連結)	11
株式の状況	13
ちばぎんネットワーク	14

中期経営計画 「1st 1st」(ダブルファースト)

(2009年4月～2011年3月)

計画のゴールである2011年に向け、お客さま第一主義を徹底し、地域のトップバンクの地位を確固たるものにしてまいります。

**地域の総合金融サービスグループとして、
着実に成長してまいります。**

主要課題 I

金融仲介機能の強化と質の高い金融サービスの提供

- 地域への円滑な資金供給、預金の安定的な取込み、お客さまに最適な金融商品・サービスを提供すること等により、お客さまの裾野を拡大し、地域におけるシェアアップを図ります。
- 成長の見込まれる地域や収益性の高い業務に対し、経営資源を効果的に配分します。

主要課題 II

強靱な経営態勢の構築

- 業務プロセスの見直しによる業務の合理化・効率化を図るとともに、経費削減を進めます。
- コンプライアンスを全ての業務の基本に置くとともに、リスク管理態勢を強化します。

主要課題 III

人材育成の強化

- 職員各層の人材教育の更なる充実などにより、人材のレベルアップを図ります。

主要課題への取組みにあたっては、常にお客さまの声に謙虚に耳を傾け、お客さまの視点で考え、お客さまのために行動してまいります。

当行が目指すもの

県内貸出金シェア 40%以上	県内預金シェア 25%以上	融資新規先数 年間4千先以上
----------------	---------------	----------------

2011年3月期計数計画

実質業務純益	900億円	当期純利益	400億円	連結当期純利益	415億円
OHR	50%未満	連結Tier I比率	11%程度	連結自己資本比率	12%程度

「お客さまに最も身近で、信頼される千葉銀行」

平成21年9月期の決算の状況について

米大手証券会社の破綻を契機とした金融危機の発生から一年が経過し、金融市場は大分落ち着きを取り戻してまいりました。しかし実体経済に目を転じますと、生産や個人消費の一部で持ち直しの動きもみられますが、雇用環境の悪化が続いていることに加え、県内でも設備投資・住宅投資が共に前年比で大幅に減少しております。

このような厳しい環境の下、当行では、地域のお客さまのニーズにお応えする活動を継続してまいりました結果、預金、貸出金ともに順調に増加いたしました。また、有価証券関係損益などが改善し、実質信用コストも減少したことから、業務純益（一般貸倒引当金繰入前）は前年同期比99億円増加し425億円、経常利益は前年同期比109億円増加し220億円、中間純利益は前年同期比90億円増加し163億円となりました。各種経営指標につきましては、連結自己資本比率は12.71%、連結Tier I比率は11.25%、OHRは48.14%と引続き高い健全性と効率性を維持しております。

なお、中間配当金につきましては、これまでどおり安定配当の考え方を維持し、1株当たり5円50銭といたしました。

中期経営計画

「1st 1st」(ダブルファースト)について

平成21年度・22年度の2年間を計画期間とする中期経営計画「1st 1st」(ダブルファースト)がスタートし、半年が経過いたしました。本中期経営計画では、金融仲介機能を強化するため、地域への円滑な資金供給、お取引先の経営改善支援、コンサルティング機能の強化などを課題とし



取締役頭取 佐久間 英利

て掲げております。お客さまとの関係をこれまで以上に強化し、地域密着型金融を実践することにより、お客さまとともにこの難局を乗り越えていきたいと考えております。また、既存のお客さまのお取引を深めることだけでなく、新たなお客さまのお取引も開拓し、「ちばぎんブランド」をさらに浸透させてまいります。

営業戦略について

中小企業のお客さまのお取引におきましては、十分なコミュニケーションをつうじて経営実態や特性、ニーズを把握し、個々のお客さまの実情に合わせた的確なサポートを行ってまいります。その一環として、中小企業のお客さまに対し経営改善支援や事業再生支援など専門的なサポートを行う「企業サポート部」を6月に設置いたしました。同部と営業店が連携し、これまで以上に実効性のある経営改善策の策定と実施を支援してまいります。あわせまして中小企業のお客さまの置かれた厳しい経営環境を踏まえ、資金ニーズにも積極的にお応えしてまいります。

また、当行が営業基盤とする千葉県及び隣接地域を「広域千葉圏」と位置づけ、預金や投資信託、さらには住宅ローンなど幅広い金融サービスを提供し、より多くのお客さまとお取引させていただきたいと考えております。10月には、投信・保険・年金・信託といった資産運用に関わる業務や、事業承継・相続などを一元的にご相談いただける部署として、「コンサルティング営業部」を新設いたしました。地域のお客さまにとって最も身近で信頼できるメインバンクとなれますよう、今後ともお客さまのニーズに即した価値創造型の金融仲介機能の発揮に努めてまいります。

強靱な経営態勢の構築と 人材育成の強化について

中期経営計画では、「強靱な経営態勢の構築」と「人材育成の強化」といった行内の態勢整備も主要課題としております。

「強靱な経営態勢の構築」では、リスク管理やコンプライアンス等の態勢強化、業務の効率化を進めてまいります。

6月には、業務の基本に置いているコンプライアンスと業務のモニタリング態勢の強化を図るために「コンプライアンス部」を、金利、為替、株式などの市場環境の変化に迅速に対応し、リスク管理能力の向上を図るために「リスク管理部」を設置いたしました。

「人材育成の強化」では、銀行にとって最大の資産は人であり、「個々の力」と「組織の和」を共に高めることが、持続的な成長には不可欠であると考えております。特に当行は、全職員約4千人の4分の1にあたる千人を入行4年目までの若手職員が占めておりますことから、研修や職場で

のOJTの充実による人材育成を喫緊の課題として取組んでおります。また、女性が幅広く活躍できるような制度を充実させるとともに、中高年の持つ専門的なスキルやノウハウを活用する態勢を整えることで、職員一人ひとりの力を最大限引き出し、当行全体の力を高めてまいります。

千葉銀行の目指すもの

今後ともお客さまの幅広いニーズにお応えする商品・サービスの提供をつうじて地域経済の発展に寄与し、地域の皆さまとともに持続的な成長を果たしてまいります。また、7月より「ちばぎん未来を育む(はぐくむ)宣言」をスローガンに掲げ、「お客さまの未来」「地域の未来」「当行の未来」を育むことを常に目指し、活動していくこととしております。10月には、これらに加えて社会福祉活動や文化・芸術・スポーツの普及、気候変動等の環境問題など地域社会を取り巻く様々な課題解決に向けた活動に取組むため、「CSR推進室」(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)を設置いたしました。「未来を育む」をキーワードとして「ひと」「環境」及び「産業」の育成に資する社会貢献活動に積極的に取り組んでまいります。

これからも役職員が一丸となって、地域のトップバンクに相応しい銀行となりますよう努力を続けてまいりますので、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

取締役頭取 **佐久間 英利**

業績のご報告

平成21年9月期 業績のご報告

損益の状況

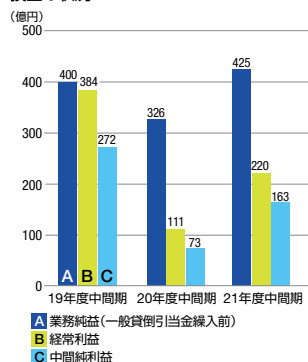
債券関係損益が改善したことなどにより、銀行の基礎的な利益を示す業務純益（一般貸倒引当金繰入前）は前年同期比99億円増加し、425億円となりました。また、実質信用コストの減少などにより、経常利益は前年同期比109億円増加し220億円、中間純利益は前年同期比90億円増加し163億円となりました。

※業務純益（一般貸倒引当金繰入前）とは、業務純益（一般貸倒引当金繰入前）とは、預金・貸出金など銀行の基本的な業務の成果を示す銀行固有の利益指標です。これは、預金・貸出金などの収支を示す「資金利益」、各種手数料収支を示す「役務取引等利益」、市場業務取引等の損益を示す「特定取引利益」、債券

や外国為替の売買損益を示す「その他業務利益」の4つを合計した「業務粗利益」から、臨時経費を除く「経費」を控除したものです。

なお、この業務純益（一般貸倒引当金繰入前）は、損益計算書の中には記載されません。

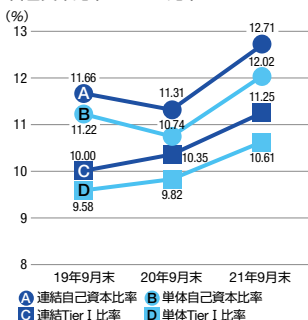
損益の状況



自己資本比率

当行の自己資本比率は、ちばぎん単体で12.02%、ちばぎんグループ連結では12.71%となり、海外に拠点（ニューヨーク、香港、ロンドン）を持つ銀行に求められる国際統一基準8%以上を充たす十分な水準にあります。また、Tier I 比率は単体で10.61%、連結では11.25%となりました。

自己資本比率・Tier I 比率

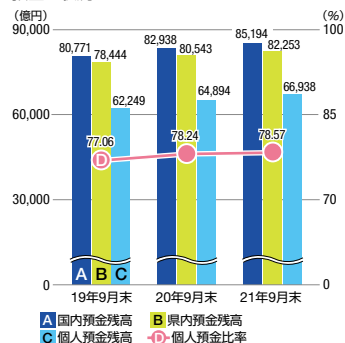


預金の状況

給与振込口座や年金受取口座など「家計のメインバンク」としてご利用いただくことを目指した活動や、退職金を受け取られたお客さまに対する資産運用コンサルティングを強化したことなどから、個人預金残高は前年同期比2,044億円増加し、6兆6,938億円となりました。

また給与振込・年金受取の口座数は、前年同期比1万7千件増加し、125万件となりました。

預金の状況

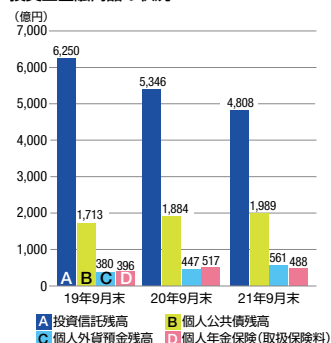


投資型金融商品の状況

基準価格の下落により投資信託残高は前年同期比538億円減少し、4,808億円となりました。また、市況悪化により一部変額保険の販売が中止となった影響などにより、個人年金保険の取扱保険料は前年同期比29億円減少し、488億円となりました。

お客さまの多様な運用ニーズにお応えするため、年金保険、一時払終身保険等で取扱商品を追加いたしました。また、これまで期間限定で実施していたインターネットバンキングにおける株式投資信託の申込手数料キャッシュバックを恒常的に実施することいたしました。

投資型金融商品の状況

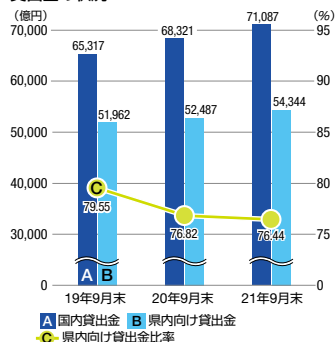


貸出金の状況

地域のお客さまの資金ニーズに積極的にお応えした結果、中小企業向け貸出金や住宅ローンが堅調に推移し、国内貸出金は前年同期比2,766億円増加し7兆1,087億円、県内向け貸出金は前年同期比1,856億円増加し5兆4,344億円となりました。

また、農業に従事されるお客さまへの支援を強化するため、千葉県農業信用基金協会の保証付融資制度や、家畜飼料特別支援資金の取扱いを開始いたしました。

貸出金の状況

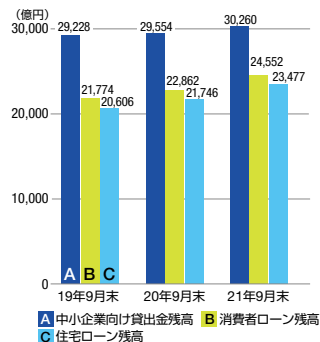


中小企業向け貸出金・消費者ローンの状況

お客さまの住宅資金ニーズに積極的にお応えしたことに加え、つくばエクスプレス沿線での開発の進展や、千葉県周辺地域への新規出店の効果などにより、住宅ローン残高は前年同期比1,730億円増加し2兆3,477億円となりました。

またビジネスローンの金利割引キャンペーン等を行ったほか、お取引先同士のビジネスマッチングにも積極的に取組んだ結果、中小企業向け貸出金残高は前年同期比706億円増加し、3兆260億円となりました。

中小企業向け貸出金・消費者ローンの状況



※中小企業には個人事業主も含めております。

資産健全化への対応と再生支援

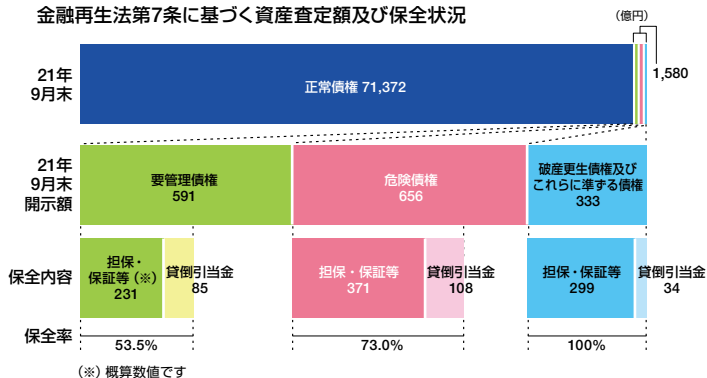
資産健全化と再生支援

金融再生法開示債権の状況

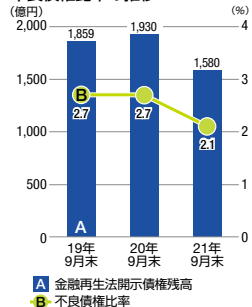
平成21年9月末時点の金融再生法開示債権残高は、前年同期比350億円減少し1,580億円となりました。また、不良債権比率も前年同期比0.5ポイント低下し2.1%となっています。

なお、中小企業のお客さまの経営改善計画策定及び実行をサポートするため、6月に「企業サポート部」を設置いたしました。また業務集中部の「ローンカウンセリングチーム」が、お客さまのローン返済に関するご相談に応じております。

金融再生法第7条に基づく資産査定額及び保全状況



不良債権比率の推移



※要管理債権

「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」を除く3カ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権です。

※危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性が高い債権です。

※破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。

新たな広告展開について

平成21年7月より、「未来を育む 千葉銀行」をコンセプトに、新たな広告展開を開始しました。

本広告展開は、4月よりスタートした中期経営計画「1st 1st」(ダブルファースト)に基づき、「ちばぎん 未来を育む(はぐくむ)宣言」をスローガンとして、「お客さまの未来を育む」「地域の未来を育む」「当行の未来を育む」の3本の柱で構成しています。

新しい広告展開については、テレビCMやラジオCMを放送しているほか、各営業店の店頭ビジョン、ウィンドーポスターなどでもご覧いただけます。

さらに、同じコンセプトで、行員一人ひとりが当行ブランドのメッセージヤーとしての役割を果たせるよう、行内運動を行っています。(ポスター等は季節によってデザインが異なる場合がございます。)



トピックス

「金町支店」の新築移転について

平成21年7月、「金町支店」はJR・京成金町駅前地区での「金町六丁目地区第一種市街地再開発事業」に伴い、再開発ビル「ヴィナシス金町」の1階に移転しました。

新店舗では、全自動貸金庫を262個設置したほか、視覚障がい者対応ATMを設置しています。

また、お客さまに「ゆっくり、安心して」ご相談いただけるよう、プライバシーに配慮した相談ブースを設置しました。

個人向けインターネットバンキングの「住宅ローンの一部繰上返済・金利変更」機能追加について

平成21年9月より、個人向けインターネットバンキング「ちばぎんマイアクセス」に、住宅ローンの一部繰上返済・金利変更機能を追加しました。

本サービスではインターネットバンキングを利用して24時間お手続きができるほか、繰上返済手数料が店頭での取扱手数料の半額となります。

安心・安全にご利用いただくために

振り込み詐欺未然防止の

「声かけ訓練」研修会の実施について

平成21年10月に、当行本店営業部にて振り込み詐欺未然防止の「声かけ訓練」研修会を行いました。

これは、千葉中央警察署が振り込み詐欺撲滅活動の強化推進を目的として開催したものです。

当日は当行職員のほか、千葉中央警察署管内の金融機関防犯協会会員など総勢約50名が集まり、振り込み詐欺の被害者役の警察官を相手に、実戦さながらの声かけ訓練を行いました。

当行はこれからも、犯罪の未然防止に努め、お客さまが安心してお取引いただけるよう、努めていきます。

ATMコーナーにおける携帯電話の利用制限について

携帯電話を利用した振り込み詐欺対策の一環として、平成20年12月に当行本店営業部の店外ATMコーナーなどに、携帯電話の通話を抑止する装置を設置しました。

これは、全国の金融機関では初めての取り組みとなります。

本装置の設置により、ATM操作中にお客さまは携帯電話の通話が制限され、振り込み詐欺被害の防止につながります。

なお、利用している電波は極めて微弱で、人体への影響がほとんどないことが確認されています。

フィッシング対策の強化について

平成21年9月より、インターネットバンキングのセキュリティ強化のため、新規格のサーバー証明書「EVSSL証明書^{*}」を導入しました。これにより、ちばぎんマイアクセス(インターネットバンキング)をご利用のお客さまに、現在閲覧しているサイトが千葉銀行の真正なサイトかどうかを、より視覚的かつ容易に確認していただくことが可能となりました。ブラウザがInternet Explorer7以上の場合、アドレスバーの色が緑色に変化し、真正なサイトであることの確認がよりわかりやすくなります。

^{*}従来の「SSLサーバー証明書」に比べ審査基準が厳格化されています。

ちばぎんグループのCSR

CSRとは

CSR (Corporate Social Responsibility)は「企業の社会的責任」と言われ、企業が事業活動をつうじて、社会・環境に配慮した経営に取り組むことで、全てのステークホルダー(利害関係者：お客さま、株主さま、地域社会、従業員)の皆さまに満足を与え、企業自体が持続的・永続的な発展を遂げていくことを目的としています。

当行グループでの取組み

当行グループは地域とともに歩む地方銀行グループとして、本業等をつうじて全てのステークホルダーの皆さまからの期待にお応えするとともに、持続可能な地域社会の実現に貢献できるよう「グループCSR活動方針」を掲げ、グループ役職員一丸となってCSRに取り組んでいます。

グループCSR 活動方針

ちばぎんグループは、持続可能な地域社会実現のため、金融仲介機能の発揮等の本業に加え、誠実かつ公正な企業活動、気候変動等環境問題など地域社会を取り巻く様々な課題解決に向けた活動等に、グループ役職員一人ひとりが当事者という意識を持って、積極的に取り組んでまいります。

そして、これら当行グループの取組みの情報開示をつうじ、ステークホルダーの皆さまとのより良い関係作りに注力いたしますとともに、「新たな地域社会の姿」を皆さまと描いてまいります。

ちばぎんグループのCSRコンセプト

ちばぎんグループは、持続可能な地域社会実現のため、
CSR活動に積極的に取り組んでまいります。

お客さま満足度(CS)の向上
コンプライアンス

金融仲介機能の発揮 (本業)

中小企業をはじめとした地域への円滑な資金供給に注力してまいります。

地域社会への貢献 (社会貢献活動)

「未来を育む」をキーワードに、「ひと」「環境」「産業」の育成に資する社会貢献活動を展開してまいります。

人材育成の強化

役職員一人ひとりが、お客さまのニーズに的確にお応えできる意識・スキルを身に付けてまいります。

「未来を育む」社会貢献活動の展開

当行グループは、社会(地域)貢献をCSR重点項目の一つと位置付け、「未来を育む」をキーワードに「ひと」「環境」及び「産業」の育成に資する社会貢献活動を幅広く展開しています。

「ひと」の未来を育む活動

金融教育の地域への普及活動は地域金融機関である当行の社会的使命と位置付けるとともに、思いやりのある豊かな地域社会作りを応援してまいります。

- 次世代への金融教育の普及活動
- 民間による社会福祉活動への支援活動
- 文化・芸術・スポーツ部門への支援活動



「環境」の未来を育む活動

地球温暖化問題を当行自身の問題と捉え、CO₂の排出量削減に繋がる活動を地域の皆さまと連携して取り組んでまいります。

- 地域のエネルギー使用量削減活動(お客さまの削減を支援、当行自身が削減)
- 地域の清掃活動
- 地域の緑化活動



「産業」の未来を育む活動

地域活性化問題を当行自身の問題と捉え、主な営業基盤である千葉県の産業の発展に寄与する活動を展開してまいります。

- 産学連携支援活動
- 農業、観光等の千葉県産業に関する情報発信・魅力向上活動



財務諸表（連結）

中間連結貸借対照表（単位：百万円）

科目	(平成20年9月30日現在) (平成21年9月30日現在)	
	平成20年9月末	平成21年9月末
(資産の部)		
現金預け金	367,958	320,273
コールローン及び買入手形	16,078	29,631
買現先勘定	—	29,992
債券貸借取引支払保証金	13,520	9,861
買入金銭債権	60,019	51,552
特定取引資産	316,429	457,420
金銭の信託	28,826	29,660
有価証券	2,057,443	1,956,059
貸出金	6,844,783	7,124,455
外国為替	3,228	3,703
その他資産	112,315	108,397
有形固定資産	95,946	96,042
無形固定資産	7,809	8,771
繰延税金資産	67,207	60,169
支払承諾見返	112,174	101,267
貸倒引当金	△60,254	△66,156
資産の部合計	10,043,489	10,321,103

科目	(平成20年9月30日現在) (平成21年9月30日現在)	
	平成20年9月末	平成21年9月末
(負債の部)		
預金	8,439,502	8,614,251
譲渡性預金	120,527	125,786
コールマネー及び売渡手形	267,153	73,350
売現先勘定	99,824	218,954
債券貸借取引受入担保金	146,739	147,555
特定取引負債	14,682	20,896
借入金	99,362	231,504
外国為替	753	277
社債	41,000	40,000
その他負債	100,588	122,719
退職給付引当金	18,700	19,146
役員退職慰労引当金	1,293	1,116
睡眠預金払戻損失引当金	790	730
ポイント引当金	762	697
特別法上の引当金	35	27
繰延税金負債	1	23
再評価に係る繰延税金負債	15,323	15,245
支払承諾	112,174	101,267
負債の部合計	9,479,217	9,733,549
(純資産の部)		
資本金	145,069	145,069
資本剰余金	123,399	123,385
利益剰余金	286,307	297,962
自己株式	△1,243	△1,241
株主資本合計	553,532	565,175
その他有価証券評価差額金	△10,531	3,888
繰延ヘッジ損益	961	△1,984
土地再評価差額金	7,777	7,662
為替換算調整勘定	△5	—
評価・換算差額等合計	△1,798	9,566
少数株主持分	12,537	12,811
純資産の部合計	564,271	587,553
負債及び純資産の部合計	10,043,489	10,321,103

中間連結損益計算書 (単位:百万円)

科目	(平成20年4月 1日から 平成20年9月30日まで)	(平成21年4月 1日から 平成21年9月30日まで)
	平成20年9月期	平成21年9月期
経常収益	132,008	118,546
資金運用収益	93,020	82,702
(うち貸出金利息)	(74,218)	(70,720)
(うち有価証券利息配当金)	(16,749)	(11,260)
信託報酬	3	0
役員取引等収益	21,337	19,570
特定取引収益	1,856	1,897
その他業務収益	2,270	2,344
その他経常収益	13,520	12,031
経常費用	119,819	95,529
資金調達費用	19,397	9,731
(うち預金利息)	(13,936)	(7,115)
役員取引等費用	7,181	7,385
その他業務費用	13,426	1,314
営業経費	44,106	43,650
その他経常費用	35,707	33,447
経常利益	12,189	23,017
特別利益	2,581	4,433
固定資産処分益	223	42
償却債権取立益	2,176	4,383
金融商品取引責任準備金取崩額	180	7
特別損失	309	80
固定資産処分損	309	80
税金等調整前中間純利益	14,460	27,369
法人税、住民税及び事業税	12,074	6,758
法人税等調整額	△5,545	3,658
法人税等合計	6,529	10,416
少数株主利益	289	317
中間純利益	7,640	16,636

【平成21年9月期注記】

- 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
- 貸出金のうち、破綻先債権額は9,015百万円、延滞債権額は90,294百万円、3カ月以上延滞債権額は4,997百万円、貸出条件緩和債権額は54,170百万円、ならびにその合計額は158,477百万円であります。
- 銀行法施行規則第17条の5第1項第3号口に規定する連結自己資本比率(国際統一基準) 12.71%
- 有形固定資産の減価償却累計額 93,221百万円
- 1株当たりの純資産額 643円 4銭
- 担保に供している資産として、特定取引資産、有価証券、貸出金合計額 1,135,808百万円
- 1株当たり中間純利益金額 18円61銭

株式の状況

株式の所有者別状況

平成21年9月30日現在

区分	株主数 (人)	所有株式数 (単元)	割合 (%)	
政府及び地方公共団体	2	9	0.00	
金融機関	127	433,153	48.65	
金融商品取引業者	43	14,014	1.57	
その他の法人	1,398	128,117	14.39	
外国法人等	個人以外	467	192,046	21.57
	個人	0	0	0.00
個人その他	25,802	123,054	13.82	
計	27,839	890,393	100.00	

(注) 1. 1単元の株式数は1,000株です。なお、上記のほか、単元未満株式は5,128,087株となっております。

2. 自己株式1,746,674株は「個人その他」に1,746単元、単元未満株式に674株含まれております。なお、自己株式1,746,674株は株主名簿上の株式数であり、期末日現在の実質的な所有株式数は1,745,674株です。

3. 「その他の法人」の欄には、株式会社証券保管振替機構名義の株式が3単元含まれております。

事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会

毎年6月

基準日

定時株主総会の議決権：毎年3月31日

期末配当：毎年3月31日

中間配当：毎年9月30日

公告方法

電子公告

(当行ホームページ <http://www.chibabank.co.jp/>)

ただし、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

大株主上位10名

平成21年9月30日現在

株主名	所有株式数 (千株)	発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合(%)
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	63,961	7.14
株式会社三菱東京UFJ銀行	44,158	4.93
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	43,392	4.84
日本興亜損害保険株式会社	29,905	3.33
日本生命保険相互会社	29,177	3.25
第一生命保険相互会社	25,678	2.86
住友生命保険相互会社	17,842	1.99
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口9)	16,709	1.86
THE CHASE MANHATTAN BANK, N.A. LONDON SECS LENDING OMNIBUS ACCOUNT	16,697	1.86
明治安田生命保険相互会社	15,579	1.73

(注) 1. 所有株式数は千株未満を切り捨てております。

2. 発行済株式総数に対する所有株式数の割合は小数点第3位以下を切り捨てております。

株主優待制度

- 対象株主
毎年3月31日現在、1,000株(1単元)以上保有の株主
- 株主優待制度の内容
千葉県の特産品等を集めましたオリジナルカタログ(毎年6月送付予定)から、保有株数に応じて、お好みの商品をお選びいただけます。

保有株数	1,000株以上 10,000株未満	10,000株以上
優待商品	千葉県の特産品等 3,000円相当	千葉県の特産品等 6,000円相当

株式事務取扱場所

- 株主名簿管理人・事務取扱場所

〒103-8202

東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号

日本証券代行株式会社 本店


お問い合わせ先 ☎0120-707-843

ちばぎんネットワーク



コンサルティングプラザ、ローンプラザ

コンサルティングプラザ	3か所(千葉・柏・船橋)
ローンプラザ	4か所(千葉中央・幕張・柏・船橋)



店舗・ATM情報の詳細は左記コードからアクセスして下さい。

(平成21年9月30日現在)

店舗数

県内	155店舗(うち、特別出張所5店舗、出張所12店舗、仮想店舗2店舗)
県外	17店舗(東京都12店舗、大阪府1店舗、埼玉県2店舗、茨城県2店舗)
海外	3店舗(ニューヨーク、香港、ロンドン)
海外駐在員事務所	1か所(上海)

両替出張所	3か所
自転車店舗外現金自動設備	261か所(うち、県内259か所)
コンビニATM[E-net]	9,850か所(うち、県内573か所)
セブン銀行との提携による共同ATM	13,063か所(うち、県内793か所)
ローソンとの提携によるATM	6,602か所(うち、県内277か所)

株式会社 千葉銀行

〒260-8720 千葉市中央区千葉港1-2

TEL.043-245-1111 (代表)

<http://www.chibabank.co.jp/>

平成21年12月発行

ちばぎんはチーム・マイナス6%に参加しています

みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%



It's All About Us
Trusting Nature

有機溶剤等を使用しない
環境にやさしい「水なし
印刷」で印刷しています

この印刷物は、NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構により色覚の個人差を問わず、多くの方に見やすく配慮されたデザイン(カラーユニバーサルデザイン)として認定されました。



FSC登録材および管理された
森林からの製品グループです
www.fsc.org Cert no. S-COC-003119
© 1996 Forest Stewardship Council